

チャペル週報

No.7

2016.5.23 ~ 5.27

あなたたちの老いる日まで、白髪になるまで、
背負って行こう。

わたしはあなたたちを造った。

わたしが担い、背負い、救い出す。

(イザヤ書46章4節)



トンプソン記念礼拝堂(神戸三田キャンパス)

関西学院宗教センター

コミュニケーション回復の出来事

神 田 健 次

クリスマスやイースターと並んで、ペンテコステ（聖霊降臨祭）は、キリスト教の三大祭の一つであります。新約聖書の使徒言行録第2章の記述は、弟子たち一同が祈りを共にしていた時、神の霊の息吹がぐだり、互いに通じ合う新たな言葉が与えられ、最初のキリスト教会が誕生したという出来事を物語っています。

このようなペンテコステの出来事は、旧約聖書の創世記第11章のバベルの塔の物語との関係で、しばしば語られます。すなわち、人間が神に成り上がろうとして天上高くバベルの塔を建設しようとする野望を、神は、その罰として言葉を乱され、コミュニケーションが断絶した出来事を物語っています。それに対して、ペンテコステの物語は、神の霊の息吹によって、人間の自己中心的エゴイズムの傲りが砕かれ、コミュニケーション回復がもたらされ、互いに通じ合う新たな言葉が与えられる出来事が語られています。

今日、学院では、特に大学を中心として国際交流の推進プロジェクトとの関連で、多くの外国人の留学生や教職員が、研究や教育を共同で担っています。さまざまな活性化が生まれている一面、コミュニケーションがなかなか困難な場面も生まれています。あるいはまた、情報化の急速な進展にともない、その強力なネットワークの利便性にあずかっている一面、人格的な相互のコミュニケーションが次第に希薄化し、さまざまな難しい局面も生じてきているようにも思われます。こうした国際化や情報化の波が後戻りできない状況の中で、研究や教育のベースに、互いに相手を理解しあい、傾聴しようとする、人格的なコミュニケーションの回復が急務であるように思われます。

日本のキリスト教美術を代表する一人で、数年前にその個展を吉岡記念館で開催したことがある渡辺総一氏に、「ペンテコステ」という作品があります。カナダの教科書や世界のキリスト教界でもよく知られた作品です。テーブルを共に囲む人々に、神の霊のいぶきがぐだり、人々が喜びに満たされて、共に賛美している姿が鮮やかに描かれています。その人々の間は、ハートマークで彩られ、コミュニケーション回復の温もりが溢れているのです。このようなコミュニケーション回復のささやかな温もりを、日常の歩みの中で大切にしたいと願っています。そこに、小さなペンテコステの出来事が宿ると言えるでしょう。

(神学部教授)

☆ チャペル・スケジュール ☆

時間 10:35～11:05 場所 各学部チャペル

5月23日(月) 神 <説教学演習B> 今 井 圭 介 (神学研究科M2)
経 舟 木 讓 (宗教主事)
人 Jeffrey Mensendiek (宗教センター宗教主事)
聖和 聖書物語「ゆるしの王子」
理 前 川 裕 (宗教主事)

5月24日(火) 神 シリーズチャペル「平和を創る」井 上 智 (神学部助教)
文 上ヶ原ハピタット (GV)
社 ギターとピアノで歌う世界の賛美歌
法 大 宮 有 博 (宗教主事)
経 音楽チャペル バロックアンサンブル
商 Jeffrey Mensendiek (宗教センター宗教主事)
国 平 林 孝 裕 (宗教主事)
聖和 オルガニストによる演奏
理 グリーククラブ
総 KSCレインボーウィークを覚えて 吉 川 寛 (卒業生)

5月25日(水) 神 シリーズチャペル「平和を創る」浅 野 淳 博 (神学部教授)
社 春の音楽チャペル② ハンドベル・クワイア
法 「空の土の器」渡 辺 総 一 (キリスト教画家)
経 Jeffrey Mensendiek (宗教センター宗教主事)
商 グリーククラブ
人 音楽チャペル バロックアンサンブル
国 ベンテコステをおぼえて 平 林 孝 裕 (宗教主事)
聖和 長 島 礼 (教育学部専任講師)
理 前 川 裕 (宗教主事)
総 菊 池 恵理子 (卒業生、(株)タイガーマーブ代表)

5月26日(木) 神 上ヶ原ハピタット
文 国連ユースボランティアに参加して 佐 竹 優 輝 (国際学部4年)
社 世界と出会う① 貴 戸 理 恵 (社会学部准教授)
法 大 宮 有 博 (宗教主事)
商 音楽チャペル ハンドベルクワイア
国 English Chapel Eun Ja Lee (missionary)
聖和 聖和創立記念を覚えて 森 本 宮仁子 (聖和大学卒・非常勤講師)
総 関西学院室内合奏団

5月27日(金) 院 Jeffrey Mensendiek (宗教センター宗教主事)
神 ハンドベルクワイアによる音楽礼拝
文 English Chapel Andreas Rusterholz (chaplain)
人 上ヶ原ハピタット
理 KG Blessed Choir

◇ランバス早天祈祷会 毎金曜日 8:20～8:40 ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)
5月27日(金) スポーツ科学・健康科学プログラム室のために
佐 藤 博 信(スポーツ科学・健康科学プログラム室長)

●ランバスチャペル・ヌーンコンサート

西宮上ヶ原キャンパスの正門に入って右手に見えるチャペル「ランバス記念礼拝堂」では、礼拝はもちろん、コンサートや式典、講演会、卒業生の結婚式などが行われています。5月に入ると関学を代表する音楽団体による恒例のヌーンコンサートが開かれます。お昼休みのひととき、どうぞ耳を傾けてみてください。

- 5月23日(月)関西学院交響楽団 管楽アンサンブル
 - 5月26日(木)関西学院バロックアンサンブル
 - 5月30日(月)関西学院交響楽団 弦楽アンサンブル
 - 6月1日(水)関西学院ハンドベルクワイア
 - 6月6日(月)関西学院大学応援団総部 吹奏楽部
 - 6月9日(木)関西学院ゴスペルクワイア Power Of Voice
- いずれも12時50分～13時20分

ところ:ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原キャンパス)

主 催:宗教センター・宗教音楽委員会

●オルガン音楽の泉 2016 Spring semester

パイプオルガンの響きに憩うお昼のひととき、どなたでもご自由にお楽しみください。

- 第9回 5月25日(水) 太宰 まり(関西学院オルガニスト)
- 第10回 6月16日(木) 西山 聡子(本学オルガン講師)
- 第11回 6月28日(火) 松原 晴美(桃山学院大学オルガニスト)
- 第12回 7月8日(金) 山本 真希(りゅーとびあ新潟市民芸術文化会館専属オルガニスト)

いずれも12:50～13:20[開場12:40予定]

ところ:関西学院中央講堂(125周年記念講堂)

主 催:宗教センター

●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急梅田駅から徒歩すぐ、アプローチタワー14階の大阪梅田キャンパスでは、大学院授業期間中の毎週木曜日にチャペルアワーを開催しています。(17:50～18:20 1405号教室)

主 題:「ペンテコステを覚えて-「熊本地震」を覚える-」

- 5/26(木) 舟木 讓(宗教総主事)

●夕べの祈りatランバス～テゼの音楽とともに～

ろうそくの光を灯して、テゼの歌を歌いながら、皆でこころ静かに過ごす夕べの祈りのひとときです。どなたでもご参加ください。

第1回 5月26日(木)18:30～20:00

第2回 6月30日(木)18:30～20:00

ところ:ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)

主 催:夕べの祈り準備会(学生有志)

協 力:関西学院宗教活動委員会

●CD・DVDライブラリー

吉岡記念館事務室宗教センターには、教会音楽、キリスト教に関するCDやDVDを備えています。本学学生及び教職員(学生証または身分証明書が必要)であればどなたでも利用できます。希望者は事務室までお越しください。

●使用済み切手収集にご協力ください

本学では日本キリスト教海外医療協力会(JOCS)切手部の活動に協力し、使用済み切手の収集をしています。通常切手も対象としていますのでどうぞ吉岡記念館常設の回収箱にお届けください。

●盲導犬育成のためご協力お願いします

関西学院宗教活動委員会は、目の不自由な方々の社会参加促進を願い、社会福祉法人「日本ライトハウス」の募金活動に協力しています。吉岡記念館事務室ははじめ各学部カウンターに募金箱を用意しておりますので皆様の温かいご協力をお願いいたします。